

2021年度 ケーブルテレビ放送番組審議会
(栃木チャンネル)
議事録

1. 概要

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み書面による審議
審議資料を郵送し回答を求め、審議委員総数10名うち全員から回答がありました。

2. 審議委員（敬称略）

大 川 秀 子	会 長（栃木市長）
膝 附 武 男	副会長（栃木商工会議所副会頭）
阿 部 勝 彦	委 員（大平町商工会会長）
伊 藤 邦 夫	委 員（藤岡町商工会会長）
三 室 一 男	委 員（都賀町商工会会長）
山 岸 弘 幸	委 員（西方商工会会長）
安 藤 芳 雄	委 員（岩舟町商工会会長）
平 野 洋 行	委 員（栃木警察署長）
小 島 徹	委 員（栃木市消防本部消防長）
柳 田 和 子	委 員（栃木市女性団体連絡協議会会長）

3. 報告事項

【 全体 】

- （1）新委員の委嘱に関する報告
- （2）放送エリア及び加入状況に関する報告
- （3）ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告（2021 年度）

【 コミュニティチャンネル関連 】

- （1）2021 年 コミュニティチャンネルに関する報告
 - ① コミュニティチャンネル概要
 - ② 主なレギュラー番組（2021 年度実施）
 - ③ 主な特別番組（2021 年度実績）

4. 議事

(1) 事前にご視聴をお願いした番組に対するご意見・ご感想について

【審議対象とした番組】

- ① 特別番組「栃木市災害の記憶」
- ② 気ままにじもとあるき
- ③ Report Tochigi 12月号
- ④ 特別番組「新型コロナウイルス感染症対策 ワクチンの必要性」
- ⑤ 安全安心だより「おねがい 止まって とちぎ県」
- ⑥ 中学生向け県立高校紹介 11月9日放送 栃木高校

【ご意見・ご質問 及び 回答】

① 特別番組「栃木市災害の記憶」

【委員】 番組を見て、令和元年の台風19号を思い出しました。普段見慣れている栃木駅内をすさまじい勢いで流れる濁流は強いインパクトです。歴史を見合わせながら、栃木市が地形上、ポジシヨンの的に「扇端」「湧水」の場所にある解説は良い学びになりました。洪水は栃木市にとって当たり前のことで、治水はここに住む以上必然なのだと新たな認識をしました。

【委員】 栃木市の被害状況を改めて認識しました。被害から日数が経過し、忘れがちな災害への事前準備が、専門家の説明でとても参考になりました。自分で普段からやっておく、自己防衛意識が重要であることが分かりやすく説明されていました。また、ハザードマップの重要性についても説明が参考になりました。

【委員】 水害発生時の映像だけでなく、地形からの危険性(原因)を識者の知見から分かりやすく説明され、今後も危険性を有する事、普段どのような心構えでいるべきかを訴えており、非常に有意義な構成であると感じました。特に佐山正樹さんの言葉「困難は複数起こる」は、災害の恐ろしさを端的に示しており印象に残りました。

【委員】 貴重な災害記録をこれからどう生かしていくのが課題だと思います。令和元年の台風19号では想定外のことが起こりました。先手の対応が求められます。もっとわかりやすいハザードマップを望みます。

【委員】 2回の災害を経験した市民アンケートの結果は、市民の避難意識を知る上で、今後の情報提供のあり方の参考になると思います。

【委員】 歴史的資料や東日本台風の生々しい映像、市民アンケートから見えた避難行動に関する課題、栃木市の地形的特性から今後の水害対策を考える事など、専門的な検証を多くの方から聞き、構成や企画は良いと思います。

- 【委員】 台風 19 号災害の被害状況を再度確認できました。検証報告では、ハザードマップを知らないことや避難に関する課題が見えました。番組を通して、市民意識の向上や避難行動を常に意識する事への啓発につながったと思います。今後の水害対策事業の説明もありましたが、ハード事業とソフト事業によって命を守る取り組みにつながる広報になったと思います。
- 【委員】 過去の記憶の薄れ、歴史、伝承の難しさを痛感しました。明治にも栃木市で大きな水害があった映像に驚きました。世界の気象災害は 50 年で 5 倍、ハザードマップをよく知らない・分からない人が約 75%いて、新しく住む方や次世代にぜひ伝承し、活かす方法が構築されると良いと思います。開館目前の美術館・文学館のように伝承できるものがあるとよいです。
- 【委員】 明治 43 年と令和元年に発生した災害は同じ状況のようなのに、現在まで何の対策もしてこなかったのかと思いました。令和 5 年度には各河川の^{かさ}嵩上げ・^{かどう}河道の掘削等が、令和 7 年度には地下トンネル河道が完成するようです。市民の防災意識を高めるために、工事の進捗状況をニュースや動画で配信するとよいではないでしょうか。
- 【委員】 栃木市の洪水の映像と話を目の当たりにし、災害の恐ろしさを実感しました。普段の危機管理の乏しさが身につまされました。映像の素晴らしさにも引き込まれました。今は復旧もずいぶん進んでいる様ですが、その過程も伝えられるとよいと思います。
- 【CATV】 日ごろからニュース番組内で防災に関する話題を放送し、地域住民の皆様に災害への備えの大切さを伝えています。永野川工事の進捗につきましては、永野川改良復旧工事等安全協議会様のご協力を頂き、永野川のドローン映像を活用した番組を新年度放送できるよう進めます。

② 気ままにじもとあるき

- 【委員】 住民の方に「我が街」の気づき、見直しを促すよい企画であり、リポーターの案内も心地よく感じることができました。
- 【委員】 栃木市の歴史的建物等を散策しながら市内を紹介する、よく考えられた企画だと思います。
- 【委員】 再発見があり、見ていて楽しい番組でした。早送り、3 倍速など表示があったらよいと思います。
- 【委員】 普段あまり歩かないコースが紹介され、新たな発見があったのではないのでしょうか。街の中をトロッコが走っていたことなど、面白い話題が提供されていました。番組が身近なものになったと思います。

【CATV】 「気ままにじもとあるき」は、地域の皆様から大変好評をいただいている番組です。引き続き、栃木市をはじめするエリア内を歩きながら、地域の人や歴史を紹介します。

③ 自治体広報番組「Report Tochigi」12月号

【委員】 オープンする美術館・文学館の紹介は行きたいと思うほど新鮮でした。

【委員】 必要な情報だと思います。

【委員】 なかなか見られない内部を紹介いただき、更に開館が楽しみになったと思います。多くの人がサポーターに参加してほしいです。
インフルエンザの予防の呼びかけも良かったです。

【CATV】 今後も栃木市の広報ご担当者様と相談をしながら、市政を身近に感じていただける番組にいたします。

④ 特別番組「新型コロナウイルス感染症対策ワクチンの必要性」

【委員】 ワクチン接種に対する不安の解消や効果の持続性の解説など説明され、ワクチン接種の必要性を説いているので、市民にとって判断基準となりえるよい企画だと思います。

【委員】 分かりやすくできていて、放送した9月のタイミングでは市民にとって良い情報になったと思います。

【委員】 お話と文章で視聴者に分かりやすく説明があり、理解できました。

【委員】 とても参考になりました。

【委員】 より多くの人にワクチンの接種をしてもらうために、毎日の放送でワクチン接種済・未接種での感染者数を知らせてはどうでしょうか。子どもの感染が拡大しているので、各家庭で注意することを放送してほしいです。

【CATV】 現在、栃木県から発表される県内のコロナ感染者数の推移を特別番組、データ放送で毎日お知らせしているほか、HOTステーション内で随時ワクチン関連情報などをお伝えしています。今後も、地域の皆様にとって必要な情報を把握し、ニュース番組、データ放送等を活用し、適時、的確にお知らせをします。

⑤ 安全安心だより「おねがい 止まって とちぎ県」

【委員】 データを基にした情報発信は、市民に対して説得力があります。

【委員】 長野県は止まる率が81%というのは、視聴者にとって驚きではないかと思います。「止まってくれない栃木県」からは脱却したものの、まだまだ

啓発が必要です。また、特殊詐欺の防止等、安全安心につながる報道ができていました。

【委員】 栃木県の横断歩道での一時停止率が全国ワーストというくらい悪かった時と比べれば改善していると思いますが、まだ中くらいです。

まだまだ啓発が必要です。

【委員】 地域の安心・安全に関する情報提供は、こまめに放送してほしいです。

【委員】 広報の枠を設けて頂けていることに感謝します。今後、内容をよりタイムリーかつ視聴者が理解しやすいよう検討を重ねていきたいと思います。

【CATV】 交通安全や特殊詐欺被害防止など、今後も安全安心の街づくりに向けて地域の皆様へ啓発する放送を続けます。

⑥ とちぎ HOT ステーション【中学生向け県立高校紹介】 栃木高校

【委員】 学生や先生の学校紹介が新鮮でした。

【委員】 良い番組でした。振り返ると私自身が高校を受ける際、男子校・女子校、普通校・専門校の中身がよく分からず不安がありました。高校生自身の活動、雰囲気分かり、どのような学校か踏み込むことができると思います。

【委員】 市内の高校紹介は、近隣の中学生にとって希望の学校を考えることができるととても良いです。

【委員】 学校紹介は平等を期して全部実施がよいと思いますが、サンプルとしては希望者の少ない学校を見たいと思いました。

【委員】 市民にとって興味深い番組であると思います。学校生活を楽しんでいる様子が伝わりました。

【CATV】 コロナ禍で多くの子どもたちが活躍の場を制限されている中、教育機関に協力を呼びかけ、子どもたちの頑張る様子を地域の皆様にお伝えできるよう、番組を制作します。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

【委員】 地域在住の各方面の「人」を中心としたコーナーを設けてはどうでしょうか。

【委員】 それぞれの時期に合わせて、「HOT ステーション」で各地の特産品が放送され、集客につながっていると思います。コロナ禍ではありますが、たくさんの賑わいが戻るような放送を続けてほしいと思います。

【委員】 栃木市の歴史と実情を振り返り、今後、後世にどう伝えどう守っていくか実感しました。地域に根付いたチャンネルなので、教育・スポーツ・レジャー等多方面に渡り、取材・放送することで地域住民のケーブルテレビ加入にも

つながることなので努力してほしいです。

- 【委員】 地域での出来事やイベント、特産物などをタイムリーに「HOT ステーション」で放送していただくことで、地域を良く知ることにつながり、情報・話題にもなるので、今後も素敵な企画をお願いします。スタッフの皆様がいつも笑顔で明るく元気がでます。
- 【委員】 コミュニティチャンネルならではの情報発信を引き続きお願いします。コロナ禍での市民に対する情報発信について分かりやすく伝えていただきたいです。
- 【委員】 視聴した番組を含め、それぞれが中身の濃い番組であり、興味深く拝見しました。せっかく良い番組を制作しても見てもらえなければ意味がありません。いかに見てもらえるかが課題だと思います。
- 【委員】 それぞれの番組が地域のテレビ番組として上手に制作されていると思います。これからも大切な役目をよろしくお願いします。
- 【委員】 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、多くのイベントが中止になるなど番組制作に苦労が多いと思います。そんな中、栃木市の話題を市民に提供いただけていることに感謝します。近年、SNS などインターネットによる情報発信が進んでいますが、スマートフォン、パソコン等デジタル機器を利用できない方も多くいると思うので、市内の情報を入手できるテレビの役割が引き続き重要になると考えます。これからも、安全安心な生活や市民生活の充実につながるような多くの情報を市民に伝えていただくと共に、栃木市の魅力を市外へアピールできるよう外部への発信も引き続き協力いただければと思います。
- 【CATV】 今後も地域の皆様のご期待に沿えるよう、「地域密着」を第一に心掛け、家族が笑顔になれる身近な話題としての地元スポーツ、歴史・文化、子どもたちの成長など、地域の「宝」を映像に残し、放送いたします。常に新鮮さを感じていただけるよう新番組制作にも積極的に取り組んで参ります。2020 年から続くコロナ禍により多くの人が集まる機会が減り、地域のコミュニケーションの場は少なくなりつつありますが、取材活動、コミュニティチャンネルでの放送を通じて、地域の活性化に貢献して参ります。

以上